

施設名 : 青梅市民斎場
 指定管理者名 : 富士建物管理・富士建設工業共同体
 担当課 : 市民課

評価項目		評価内容	指定管理者 評価	確認資料等	市評価	判断のポイント
業務履行	業務体制	サービス提供や施設等の維持管理のために適正な人員配置がされているか。	◎	事業報告書 日報	○	① 施設ごとの職員配置の状況 ② 防火管理者の設置状況
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	○	事業報告書 月報	△	① 指定管理者事業計画書、実績報告書の提出 ② 月報類の提出
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	○	日報 現地調査	○	① 受付簿、予約簿等の記録方法、管理方法 ② 業務日報の作成方法
	個人情報	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。	○	事業報告書 ヒアリング	○	① 個人情報保護に対する対応状況 ② 書類の保管方法
	自己評価	利用者満足度の向上のための対応はされているか。	◎	アンケート ヒアリング	○	① アンケート調査の実施状況 ② 利用者満足度を上げるための取組状況
維持管理	清掃	指定管理者の管理区域内は、定期的かつ適正に清掃がされているか。	◎	現地調査 日報	◎	① 各施設の清掃状況 ② 外回りの清掃、植栽の手入れ
	修繕	管理区域内の小破修繕、簡易修繕は適正にされているか。	○	事業報告書 ヒアリング	△	① 指定管理者による修繕の実施状況 ② 設備保守点検の実施状況
	安全性	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。	○	現地調査 日報	○	① 施設全体の施錠、見回り等の状況 ② 火気の点検状況
	警備	管理区域内の保安・秩序の保持	○	日報 ヒアリング	○	① 各施設の巡回警備、機械警備の状況 ② 出入口等の開閉、施錠確認
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	○	マニュアル 連絡網	○	① 緊急時対応マニュアルの作成の有無 ② 緊急時連絡体制(連絡網)の有無
災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。		○	事業報告書 現地調査	○	① 消防訓練等の実施状況 ② 日常業務での防止策、対応状況	
会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	○	事業報告書 帳簿類	△	① 収支報告書の内容 ② 会計帳簿類の記録確認
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	○	事業報告書 現地調査	○	① 現金の保管状況 ② 金庫の鍵の管理方法

【評価欄の評点】◎:協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。 ○:協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
 △:協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。 ×:協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数
◎	3
○	10
△	0
×	0

記入欄

利用者満足度の向上のための対応としては以下のような取り組みを実施しました。

- ・電池切れを防ぐためワイヤレスマイクの電池交換を従来から実施していた通夜の前だけでなく、告別式の前にも実施することにしました。
- ・祭壇組替の時間短縮のため祭壇を収納するラックを作成し活用しました。(祭壇組替の時間を約半分に短縮)
- ・第1式場にハンガーラック1台(ハンガー20個)を追加しました。
- ・市民課に第1式場に祭壇用のライトを2台設置していただきました。

斎場の施設や備品等を安全かつ丁寧に使用していただくため、以下の取り組みを実施しました。

- ・2階ロビーのソファやテーブルに、床の傷防止のためのクッション材を装着しました。
- ・木魚、リンなどを専用の木箱に収納しました。
- ・仏式、神式祭壇の障子を全て強度の強い障子に張り替えました。
(※祭壇の収納ラックや木魚などの木箱の製作にかかった費用は当社負担としました)

そのほか、予約の受付や使用料の徴収などをより正確に行うため、改良を重ね、間違いのない斎場運営を心がけるとともにミーティングや連絡簿、各種マニュアルなどを利用し、業務員の知識の向上に努めました。

2 市評価における評価理由、意見等

評点	数
◎	1
○	9
△	3
×	0

記入欄

業務体制……職員の配置等について、仕様に沿った配置がなされていた。

事業報告……定期報告は遅滞なく提出されているが、突発的な事案については、遅滞なく市に報告されるよう期待したい。

業務記録……業務の記録や管理は適正になされている。

個人情報……利用者等の個人情報の管理は適正になされている。

自己評価……利用者満足度の向上に向けた取組みがなされている。アンケートについては、施設の特異性から利用者の声を聴くことは難しいため、葬祭業者に意見聴取するなど努力が見られる。

清掃……施設は常に清潔に保たれている。利用者が快適に利用できるように、細かい部分にも配慮して清掃を行っていた。

修繕……仕様に沿った保守点検が実施されている。修繕が必要な箇所が増えてきており、修繕を実施すべきものの把握と市との協議を適正に行っていくことが課題である。

安全性……点検等が適正に行われており、安全確保に配慮していた。

警備……巡回警備、機械警備等が行われ、管理区域内の保安が保たれている。

緊急時対応……防災訓練の実施や講習の受講、マニュアルの整備など緊急時の体制を整えている。

(会計)処理……収支報告書の内容について、市より指摘した箇所があったため、今後は適正な処理を要する。

(会計)管理……斎場使用料等の現金管理は適正に行われていた。

・利用者からの要望に対する積極的な取組みが見られた。修繕が必要な箇所が増えてきているため、修繕を実施すべきものを適正に判断するため、市への報告や協議をより綿密に行うことを要する。突発的な事案への対応や、より快適に利用してもらうための取組みについて、さらに意識を高めた運営を期待したい。